

Towards Improving the Portability of Personal Healthcare Data

セディック, アデル, モハメド, アブドゥルラーマン, アルアッバシ

<https://doi.org/10.15017/1543995>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済



氏 名	セディック アデル アルアッバシ			
論 文 名	Towards Improving the Portability of Personal Healthcare Data (健康情報の移植性向上に関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	福田 晃
	副 査	九州大学	教授	村上 和彰
	副 査	九州大学	准教授	アハメッド アシル
	副 査	九州大学	准教授	池田 大輔

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、従来、病院ごとに管理／保有されていた健康情報を、個人に付随して持ち運べるようにした管理方法であるパーソナルヘルスブック（PHB）という概念を提案し、PHB と複数の病院との間の移植性向上を図る方法を提案し、シミュレーションと複数の病院への導入実証実験により、本提案管理方法の有効性を実証したものであり、情報工学について重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。